



とよおか

議会だより

第 9 号

平成12年10月17日

発行／豊丘村議会 編集／議会だより編集委員会 印刷／龍共印刷(株)



北小運動会

9月定例会

9月定例会の様子・決算特別委員会	2～3
予算特別委員会	4～5
一般質問の様子	6～10
国内・海外研修	10～11
委員会報告	12～13
「私の一言」、北部ブロック	14

3、老人保健医療会計
 需給対象者は高齢化の進展で増加傾向が続いており、医療費総額も前年比八・六%増の八億八千九百万円余となった。なお一人当りの医療費は前年五・三%増の六十一万円余であった。

4、簡易水道会計
 歳入総額一億六千九百万円のうち、料金収入は約九千六百八十万円で五七・四%であった。大規模な改修工事等はなかったが、漏水対策等維持管理に努める中で、有収率は前年より三・六%アップし八九・三%となった。

5、下水道事業会計
 十年度より継続で施行されていた林里地区の浄化センター工事が完成し、平成元年より始まった村内の下水道事業も完了となった。

十一年度末における水洗化率は、特環下水道地区が八六・九%、農集排伴野地区が九五・九%、同河野地区では九六・三%となった。

補正予算

◇一般会計
 補正額六千三百八十五万円で、予算総額は三十五億五千六百七十七万円となる。

主なもの、ビニール類収集処分委託料(追加)、一貫道河野地区の延長工事費、北市場自治会館潰地の代替用地費、中学校体育館の備品、公用車の購入費、故代田昇氏より寄贈された図書(運搬費等)である。

◇国保会計
 補正額七千三百四十八万円で、予算総額は四億四千三百四十八万円となる。

前年度の繰越を主な財源として、そのほとんどを予備費に充当するものであるが、他に老人保健医療費拠出金として一千五百八十八万円を追加計上した。

◇下水道会計
 補正額一千九百九十五万九千円で、予算総額三億一千三百九十五万九千円となる。国保会計と同様に前年度繰越を予備費計上するものであり、他に農集排伴野・河野両処理場の機械類のオーバーホールの費用を計上した。

毛涯章平・壬生一昭氏 両氏を再任

教育委員会委員
 任期満了に伴い、両氏の再任に同意しました。任期はこの十月一日よりの四年間で、毛涯章平氏は、引き続き教育委員会委員長に就任されました。

9月定例会

平成11年度決算を認定

第三回定例会は、九月五日より二十五日までの二十一日間の会期で開かれました。今定例会は、平成十一年度の各会計の決算認定を中心として、補正予算三件、条例規約改正三件、人事案件一件等が審議され、原案通り可決されました。

十一年度決算状況

1、一般会計
 歳入は四十六億六千四百万円、対前年一三%増、歳出は四十一億九千八百万円、同二・八%増であった。財政の弾力性を示す経常収支比率は四%アップし、六六・一%となった。

歳入では、村税五億九千二百四十九万円で前年より一千二百六十五万円程の増加となった。徴収率は九九・八%で前年より〇・二%アップした。十一年度より納税の口座振替制度が実施されたが、心配された徴収率の低下はなかった。地方交付税は前年より三百万円程増えて二十一億二千三百四十万円、歳入の四五・五%であった。

歳出の主なもの、交流センターの建設(一億八千万円)、南小体育館改修(二千二百万円)、竜東一貫道路(二億一千七百万円)、村道改良(一億六千万円)等々

2、国民健康保険会計

経済状況の低迷が続く中、リストラによって社会保険等から「国保」へ転入する加入者が依然として増加しており、被保険者は二千二百二十九人となった。

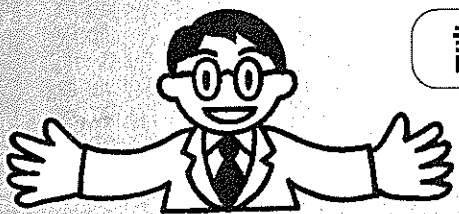
老人保健医療給付対象者(老人加入率)も四十・五%、九百二人で増加を続けており、同特別会計への拠出金は約一億円であった。又、一人当りの年間医療費は一般分十五万一千円、退職者分二十六万八千円、老人分五十七万八千円、全体では三十三万四千円となった。

(次頁へ続く)

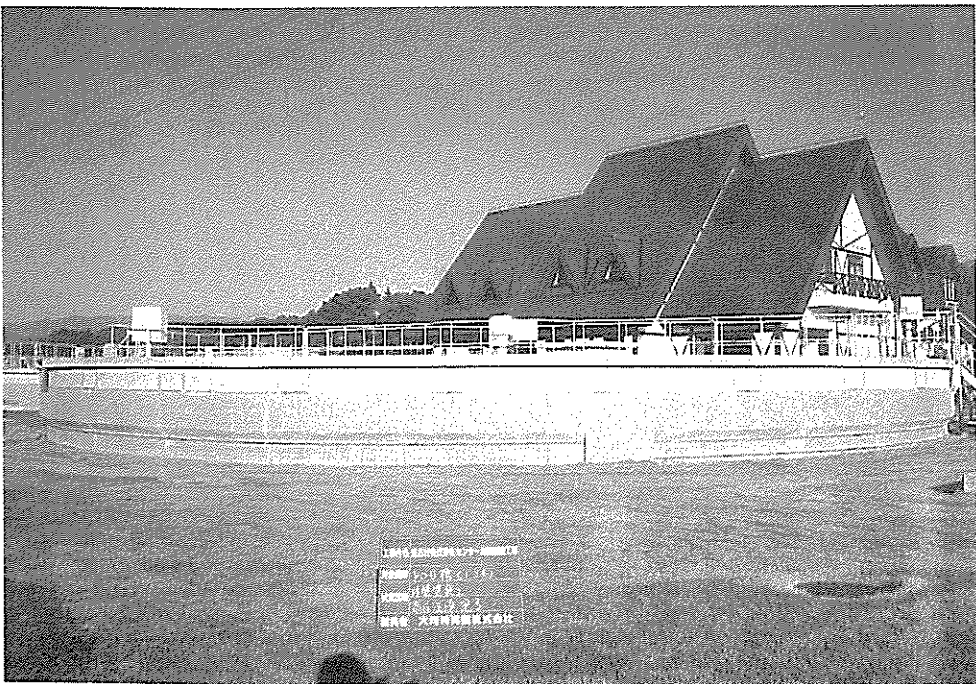


村おこしのよりどころ交流センター「だいち」

請願・陳情



- ◎「義務教育費国庫負担制度」の堅持に関する請願——採択
 意見書を総理・大蔵・文部・自治各大臣に提出
- ◎30人学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書提出に関する意見書——継続審査
- ◎豊丘村旧役場跡地に多目的文化施設を求める要望書——不採択
- ◎激増する農畜産物の緊急輸入制限(セーフガード)の発動を求める意見書採択を要望する請願——採択
 意見書を農水・通産各大臣に提出



完成した林里終末処理場

予算特別委員会 審査の質疑から

免許取得補助金とは

村の規則に定められた免許及び村長訓令（職務上の命令）により免許を取得する場合、村より一定の補助をするものです。主な免許は、介護福祉士、ケアマネージャー、浄化槽管理者、社会教育主事、等でそれに自動車免許が加わったもので、今回二名が自動車大型免許を取得するものです。現在までに、補助金を利用して大型免許を取得された方は八名です。今後必要に応じて補助するものです。尚、その資格をもって、五年以内に、その資格の基に再就職する場合については、補助金相当額を村へ返納する等、規則で定めています。

派遣研修事業補助金追加は

人材育成事業の一環として、

海外を含めて、派遣研修事業を行っています。当初予算で中学生二十名と、一般青年六名を予算計上していたが、実際参加希望者は、中学生十三名、一般青年十名となり、中学生と一般青年の金額の差と、人員の変更と金額の差により、百二万円を追加補正するものであります。

選挙入場券様式変更は

選挙入場券については、今までは、個人ごと一枚ずつ発行し世帯まとめて、隣組を通じて配布してまいりました。今回県知事選より、ハガキにより選挙入場券が配布されます。一枚のハガキで、入場者四名連記で世帯ごと郵送配布となる。投票の際には個人ごと切り取り、お願いすることになります。



希望に満ちた オレゴン州

身体障害者福祉扶助費補正は

この扶助費は、身体障害者の補装具及びその修理費の補助をするものです。当初予算については、六人の方のみの関係で計上していたが、制度改正に伴って、児童の方も同よう対象となり予算化したものです。今回見

清掃費委託料補正内容は

リサイクル法施行に伴う、処理委託で、近年特に分別収集の啓蒙活動の徹底と、住民意識の高揚により、当初の見込みよりはるかに多い量が出され大幅な



山と積まれた廃プラ資源ゴミ

委託料補正となる。おもな内容は、粗大ゴミ収集委託料百四十一万八千円、ビニール類収集処分委託料五百三十七万四千円、電化製品収集処分委託料七万円、ペットボトル・ビン収集委託料四万二千円で合計補正額は、六百六十六万四千円と大幅な補正となる。

処分場建設について

一般廃棄物最終処分場建設については、研究委員会に於いて研究検討を重ね、その中で浸出水の処理方式から、下水道への連結方式をとることを基本に、候補地を選定する。その結果、林原地区を選定し、地元関係者へお願いする。地元には、地元研究委員会を発足し協議をする中で、地元の皆さんの御理解により、測量調査に入る事となり、予算化となる。

代田図書寄贈受け入れについて

児童文学を研究されていた、代田昇さんより、児童文学本を中心とした本十七万冊程度あるが村へ寄贈したいがと言う話があり、村より生涯教育委員長等が再三出向き、高度な本ばかりでは一般民衆的に合わないのではと、いろいろ調べた上で、七万冊前後の本を寄贈引受けて、旧有線事務所へ運び、保管し、来るべき時期に、図書館へ移し利用することで決まる。

準公共施設トイレ等改修補助金補正内容は

この事業は、老人居宅支援事業の一環として実施するものです。区民会館や会所等のトイレや手すりを、改修する工事費の八〇％以内で、三十万円を限度として補助するものです。今年

初めての事業であり、当初五件程を予算見込をしたが、希望を取りまとめたところ、八件の希望があり、初めての事業でもあり、希望件数全部を実施するべく、追加するものである。

竜東一貫道路先線の天竜川架橋は

天竜川架橋について村として

当初は、国の政策での地域戦略プラン四億円を見込み、手を付けていき、その後の事については、県へ請願陳情等行っているが、なかなか見通しがつかず村としても県の見通しがないまま着手することはできない。ひきつづき県と話し合いを深めていく。



一時保管庫となる旧有線事務所

一般質問

第四次長期計画策定へ人口対策を 答 民間の力を借りて進めたい

池田 祥明

質問 全国的にそうですが、豊丘村に於いても少子高齢化が急速に進み、地域的に多少変動はあるが、特に河野地区に於いて少子化が進み、数年もすると年間十人以下になってしまう状況です。田村、伴野、小園地域は民間の力で住宅化が進み、わずかながら人口が増えている。しかし豊丘村の将来を考えた時、人口が減少すれば消費も減り、そのため商店の減少にもつながるわけです。村として八千人台を目標に口ではいろいろ言っているが、その対応策がとられて

いないのが現状である。先般、中段地帯中張地区の方々より要望書が出されていたように、高齢化が進む中での農業経営がむずかしく、村の事業で宅地化を希望されている。村として長期計画的に宅地対策及び住宅対策を着実に進め、人口増を図る必要があると考えるが村長の考えを。

村長 たしかに、人口と住宅対策は切りはなせない問題であります。言われるように、神稲地区は民間の力で、宅地化及び住宅化が進み、人口もわずかながら増えている。また河野地区に於いては、少子化が急速に進んでいることはたしかで、年間に十人以下となる時期が近いわけであるか考えていかなければと思っ



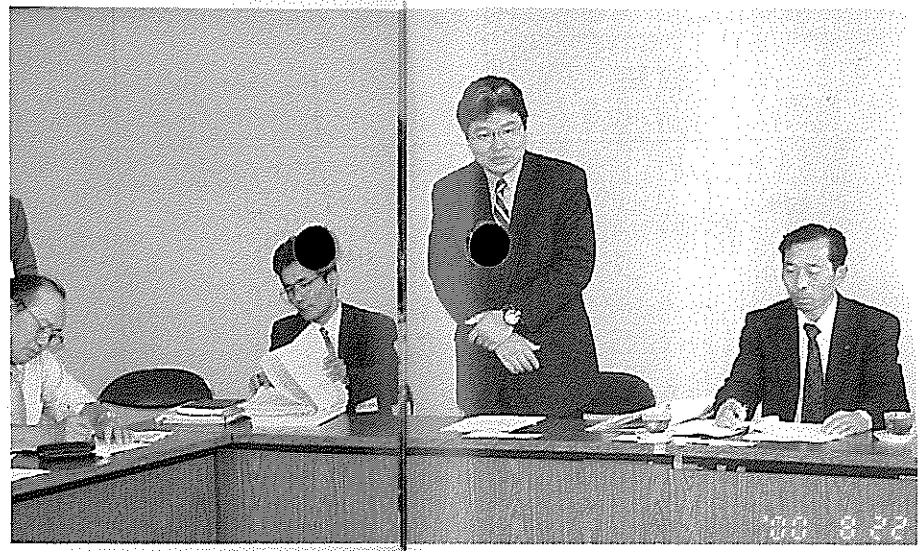
中芝の住宅団地

街づくりを

前 沢 光 昭

北海道ニセコ町、カタカナで書く全国唯一の自治体であると思つ。この町は最近「まちづくり」で全国から注目される町である。この町ではとくに「情報共有」、あらゆる情報を住民と共に所有するという考えで行政を運営している。情報公開といえは今でこそ一般的になり誰でも知っている言葉だが、まだまだ実践されている所は少ない。

一般的に情報公開と言うと、住民などから要求されてから提供するものと言う理解が多いだろう。自治体で何かを行う、考える、住民参加で審議会をつくるなどというときに、行政や議会など限られた部分だけで所有するのではなく共に所有し参加することで納得される形をつくる。また通常の予算書の他に、行政用語を分かりやすい言葉に



四十一歳のニセコ町長

国内議員研修報告

誰もが住みよい

直したり、数字を一般向けにした、町民向けの予算解説書をつくり全戸に配布している。四十一歳という大変若い町長であったが、町長になられて五年、町職員には意識改革もされており、自覚も高く感じられた。又、二日目は栗山町、奈井江町の視察、両町とも介護保険

改善の先進自治体である。栗山町は全国でもめずらしい介護の専門学校があり、町の活性化にも一役買っていた。奈井江町は、介護保険のみに限った六市町村による広域連合の中で独自の施策があり、厚生省のモデル自治体にもなっていた。

海外議員研修報告

ドイツに学ぶ

筒井 芳夫

ドイツ連邦共和国は、日本とほぼ同面積の国で有るが、広々とした平野の多い国である。人口約八千二百万人で十六の州で構成されている連邦国家です。環境施策や福祉施策の先進国ドイツを学ぼうと、村長を含め豊丘議会十一名、高森議会四名で視察研修を行った。

運び込まれる。幅広なコンベアで流れるゴミを機械や手作業で紙、ダンボール、ビニール、ジュース缶、スチロール等に分別され梱包されてリサイクル工場へ運ばれるシステムで、リサイクルが徹底しており、焼却とか埋め立て量は少ない。年二十万七処理建物も体育館位ある。

ドイツの介護保険は五年前から始まった。一部保険で重症は別で三段階審査である。保険料は給料の一・六%を会社と半々。介護保険制度を良い制度ととらえていない。

(FISCHER) ゴミ分別会社。視察。

1、ゴミ分別工場 (カールスルーエル市)

ドイツのゴミ収集は日本と違い、家庭や街頭にゴミ収集箱があり収集車で集めて分別工場に

①エネルギー政策 (省エネ)、
②公共交通の利用 (交通規制)、
③ゴミ対策 (アドバイザー設置)。

3、Kartaus 老人ホーム
百年余の歴史をもつ百人入所の老人介護ホーム。

5、エスコテション (自然保護団体)
トウヒの組み立てハウス、有機ガーデン見学。

6、フッチャー社



街角のゴミ収集ボックス

総務

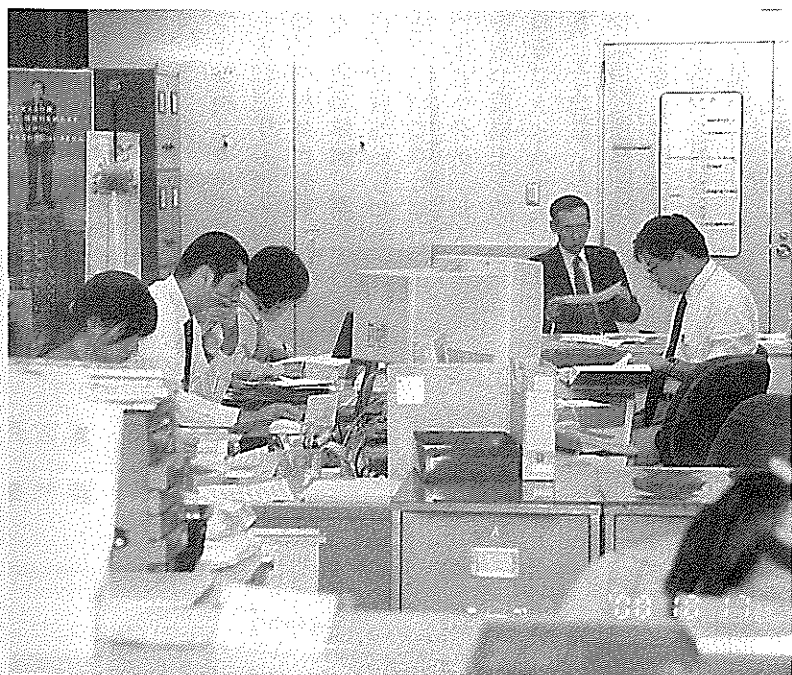
十一年度決算にみる交付税の動向

歳入のうち村税が占める割合は一二・七％であり、当村の財源の頼りは四五・五％を占めた地方交付税を中心とする依存財源となっており、これらの今後の動向が心配されるところです。

地方交付税は二十一億二千三百三十九万五千円で、前年度より約三百万円増加しました。しかしその内容は、特別交付税が国の景気対策に伴う補正予算絡みや広域連合の立ち上げに伴う特別措置等で大幅な伸びがあったことが原因で、普通交付税は一千万円余減少しています。普

通交付税は今年度も国全体の総額では前年度を上回っているものの、当村への交付額は五千四百四十万円の減少となりました。この原因は起債償還額の減少をはじめ幾つかの個別事情がありますが、全体として小規模町村への手厚い計算方法が見直されつつあることも影響していると思われまます。更には、今年度も含め最近の国の交付税特別会計での借入れにより交付総額を膨らませるといふ特別措置が取られていますが、財政難の折、いつまでもこうした事が行えられ

るはずはなく、本来のやり方に戻ったときのこと等を考えますと、今後の交付税の伸びは期待できないと言っているかと思えます。従って少ない財源を有効に使うため、行財政の効率化や事業の選択に今まで以上に努めていかなければならないと思われまます。



○天竜川架橋で、高森町議会と合意

橋は重要課題であること。一、県道つけかえ、橋を県主体で取り組むこと等県への働きかけを両町村理事者に協調して取り組む要請をすること。

八月十七日に経済建設委員会として、主として架橋について高森町議会及び理事者への働きかけを期待して熱のこもった協議がされました。合意事項として次のようでした。

一、高森町にとっても天竜川架

整備を強めて

幹線道路の働きかけ

経済建設

● 点拡張整備をしながら、架橋方向への取り組みを始め、県の決断をうながす働きかけをすることと一つの方向です。

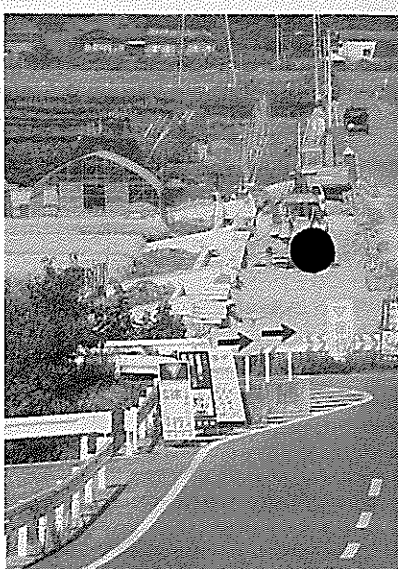
○田村地区道路整備に全力を

童東一貫道の田村交差点について、まだ合意されていない地区への努力が強く求められます。

又田村信号機に至る県道改良事業については、早期に取り組んでもらうよう県との調整を進める必要があります。明神橋関

連事業としての取り組みと、継続して同規格での拡中改良工事に取り組むことを約束してもらうことが大切です。県の財政不足のしわ寄せが田村に集まることのないよう理事者の努力が必要とす。

(経済建設委員長 奥山義臣)



建設進む竜東一貫道河野地区

だより

委員会

社会

研修視察 先進地福祉施設

視察先は、滋賀県余呉町のやまなみセンターです。施設の概要・高齢者生活福祉センター・保健センター・在宅介護支援センター・国民健康保険診療所・保健福祉総合事務所が同一建物内に配置されておりまます。

設計者は、今回高森町福祉複合施設の設計を依頼した中村勉総合計画事務所の作品でイメージとしては同じものを感じました。特に建物内部の採光を良く考えており、電気料の節約がかなり出来ると思えました。建物は平屋建てで、内部に木材を多く使用してあり落ち着いた雰囲気

気を感じる。窓回りは木製枠であり、耐久性が心配される所です。

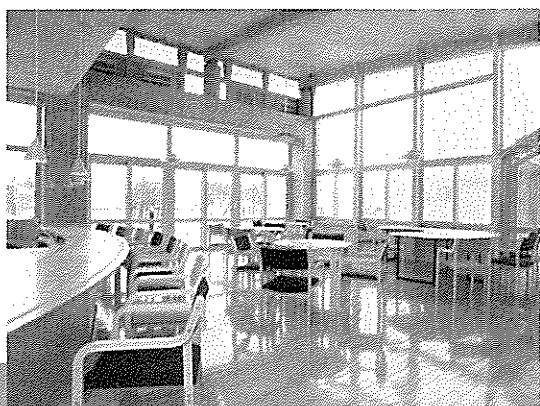
保健婦中村さんの苦労話

この建物で作られる前はそれぞれの別棟にて働いており、保健・介護・福祉・診療の全員で何度となくチームワーク、応対について話し合いを重ねました。

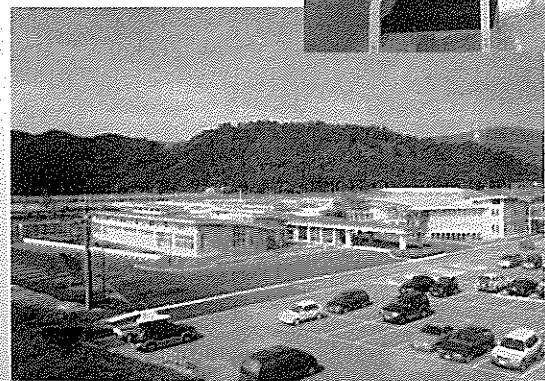
私達の仕事の目的って何だろうと考えをまとめ、子供からお年寄りまで皆さん喜んで来て貰える場所づくりを工夫しております。小学校・中学校では福祉の勉強をとりいれ、中村さんが指導して居るとか、学校帰り

の子供が遊ぶもの、車イスを押している子供の現状を見て来ました。施設に隣接して、役場・小中学校があり条件、環境は非常に良い場所でした。

(社会委員長 鹿角鉄男)



食堂



外観

余呉町やまなみセンター

360字

北部ブロック議会

県知事、議会に陳情

600
字

去る七月十九日、北部五ヶ町村議会議員が一堂に集い、各町村から提出された直面する重要課題、十五議案を研究、討議する研修会にて全て採択された。

九月四日には、採択された陳情事項を、県知事・県会議長・各常任委員会正副委員長に、北



たいと思った。

一つは議員定数を十五人にしたらと思う。豊丘村の人口数も豊丘が誕生して以来変わりなく、今大きく増える様もない。村行政も時代と共に多少の変わりがあるが、

私の一言

過去議員数を変えた時もあったが、近年の地方財政も大変困難であるのではないかと思う。議員数を少なくして財政が良くなると思えませんが、

議員定数の見直しと

合併の研究を早く

北村 片桐 昌治

私の一言 住民の声を集め村政の方向を決めるのが議員の務めであり、少数精鋭主義でも良いと思う。二つ目は合併のことである。最近の報道を見てみると地方行政の行くところは合併だと思える。中央自治省でも合併を推進し地方交付税をその動きに左右する様なことが来るものと思つ。地方分権の課題の中にも合併が必要とされる項目が入って来る。連合組織も必要だが地方行政の流れに遅れない様に研究してほしい。



部ブロック正副議長、事務局長が、吉田、森田県議に同行いただき陳情した。

陳情の経過と結果を報告する議員総会は二十九日開催された。午前中体力作りソフトボール大会が開催され、豊丘議会は四年ぶりの優勝を果たした。

県陳情事項と結果

◎採択事項

(○は豊丘議会提案)

- 1、小規模自治体における財源確保
- 2、精神障害者の授産施設建設
- 3、よりよい介護保険制度の定着をめざして
- 4、県警による一般廃棄物の不法投棄者の捜査検挙の強化
- 5、広域営農団地農道整備事業の促進と中山間地の活性化
- 6、松くい虫被害地の治山事業予算の拡大
- 7、有害鳥獣被害防止対策の充実
- 8、主要地方道及び一般県道の道路財源の確保
- 9、主要地方道松川インター大鹿線、松川・大鹿線の改良促進



県知事に陳情説明する筒井議長

400字

編集後記

▼九月一日、議会主催で高松分院婦長佐々木秀子さんをお願いして「介護保険と療養型病床群」学習会が行われた。内容は介護保険のことや、福祉医療との関連、問題点を学習した。参加者は百人を超えていた。それだけ関心が高いのだろう。

私たち議員も村民が本来に使いやすい介護保険、福祉施策の充実をめざして活動したいものである。

▼平谷村の大雨による平谷川のはんらんは本当に大変なことである。床上浸水五十九軒、床下浸水三十七軒で被害は甚大である。近年にない被害だ。

平谷川はふだんはおだやかな、なんとということもない川で水量もそれほどない。原因は流木が川をせきとめたためである。降雨量も凄かったが、やはり山がそれだけ荒れているのだ。材木は現在ほとんどが輸入によるもので林業従事者は本当に少ない。これでは山の手入れをする人がおらず荒れてしまうのもムリがない。林業再生に国も本腰を入れないと日本中が荒野と化してしまう。

減